授業科目名・形態	看護実践総合演習　　演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	黒澤　繭子　　他	実務経験の有無	有	開講期	４年後期
科目ナンバリング	N7-4018npmht				

【授業の主題】

これまでの看護技術習得状況を評価し、対象の治療環境に適した看護技術を提供できるよう、確かな看護技術を実践する。

【到達目標】

1. 看護技術演習や臨地実習で学んだことを踏まえ、安全で安楽な看護技術を習得する。
2. 臨床での看護技術がイメージできる。

【授業計画・内容】

以下の 7 項目の演習を実施する。

1. 無菌操作、創傷処置
2. 採血法
3. 膀胱留置カテーテル法
4. フィジカルアセスメント
5. 点滴静脈内注射、留置針
6. 酸素吸入療法、吸引法
7. 夜間急変時の対応

【授業実施方法】

演習内容に関して事前オリエンテーションを実施する
演習は小グループ編成による（各項目の演習を学生が主体となって実施する)。

【事前・事後学習】

演習内容に関する事前学習（DVD 試聴）を各項目 30 分程度行うこと。
演習内容を踏まえ、項目ごとに 30 分程度課題レポートを行うこと。

【主な関連する科目】

基礎看護学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ・Ⅱ、成人看護学Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメントなど

【教科書等】

演習内容に関係する看護学テキスト

【参考文献】

これまで看護学全般の授業でのテキストおよび資料を十分に活用してください。

【成績評価方法】

演習状況（60%）、レポート等（40%）の総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

多くの経験を持った看護の教員が、根拠と経験知に基づいて技術のポイントやアセスメントについて指導・教授する。

【学生へのメッセージ】

この演習では、学生自らが自己の課題を明確にし、これまで学んできた看護技術を総合的な視点で捉えなおします。看護職者として業務を遂行していくための看護技術を習得するための機会です。これまでの看護技術を復習し、グループごとに協力し合いながら演習を進めてください。